

新しい年を迎えて

飛島村長
加藤 光彦

あけましておめでとうございます。皆さま方におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと夏には全国各地で災害級の猛暑を記録しました。このような厳しい自然環境の変化は、村民の皆さまの生命と健康、そして日常生活に大きな影響を及ぼします。改めて安全・安心の確保が村政の根幹であることを痛感いたしました。

本村では、このような自然環境の変化に対応し、次世代を担う子どもたちの健やかな成長を守るため、懸案となっていました飛島学園アリーナへの空調機器の設置を進めております。このことにより、気温にかかわらず飛島学園の生徒が安全に、そして快適に活動できる環境が整い、教育活動の質の維持・向上を図ることができると考えております。また、万が一、自然災害が発生し、飛島学園が避難所となった場合でも、これ

らの空調機器が村民の皆さまのためにも有用になるものと考えています。

さて、本村では、「魅力のあるむらづくり」の実現を目指し、第5次飛島村総合計画に基づいて中長期的な視点で事業を進めております。その中でも特に重要な事業として、新規住宅地開発事業があります。農地の減少を最小限にとどめながら新規住宅地への転入による人口増や流出人口の抑制に向けた基盤整備を推し進めるため、旧飛島中学校の野球グラウンド跡地を活用してまいります。この住宅地は令和8年度末の分譲開始を目指して準備を進めているところで、このことにより、本村に新たな活力を呼び込むことが期待できます。

そして、多くの人が集い、賑いを創出する拠点として、ふれあいの郷の再編も進めております。温泉等の地域資源を活かし、体験・交流による賑い創出につながる観光交流施設に再編することで、村内外の方々の交流を図り、「活気のあるむらづくり」を進めてまいります。

さらに、昨年4月には飛島村ごみ投棄場に「北部エコプラザ」を開設し、今年4月には、「南部エコプラザ」を開設する予定です。エコプラザを2拠点化することで住民の皆さまの利便性が向上し、より一層、リサイクルの取り組みが推進できると考えま

す。引き続き、村の環境を維持・改善しながら、循環型社会の構築に向けた取り組みをおこなっていく所存です。

その他新たな事業につきましても、果敢に挑戦を続け、村民の皆さまが安全で安心して暮らすことができるむらづくりに全力で取り組んでまいります。

最後になりましたが、本年も皆さま方のご繁栄とご多幸を祈念し、年頭のご挨拶といたします。

令和8年 元旦

新春を迎えて

愛知県知事
大村 秀章

あけましておめでとうございます。昨年は、7月に「IGアリーナ」がついにグランドオープンしました。

また、「ジブリパーク」が開園から3年を、「STATION A」がグランドオープンから1周年を迎えたほか、「TechGALA Japan 2025」、「愛・地球博20祭」、国際芸術祭「あいち2025」を開催するなど、国内外から多くの人が愛知を

訪れ、賑わいと笑顔に溢れた1年となりました。

そして、今年は、9月に「第20回アジア競技大会」が、10月には「第5回アジアパラ競技大会」が、いよいよ開幕を迎えます。

県民の皆様と一緒に、両大会を大いに盛り上げ、愛知を更に元気にしてまいりたいと思いますので、一層のご支援をよろしくお願い申し上げます。

2027年の「アジア開発銀行年次総会」、2028年の「技能五輪国際大会」など、今後もビッグプロジェクトが目白押しです。

これらのプロジェクトを着実に進め、ここ愛知から、日本の成長を牽引してまいります。

また、人口減少・少子化対策を始め、社会基盤整備や農林水産業の振興、教育、女性の活躍、医療・福祉、感染症対策、環境、雇用、多文化共生、防災・交通安全、東三河地域の振興など、県民の皆様の生活と社会福祉の向上、次代の愛知を担う「人づくり」にも全力を注いでまいります。引き続き、すべての人が輝き、未来へ輝く「進化する愛知」の実現に向け、全力で取り組んでまいりますので、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

令和8年 元旦